

みずしるべ

しるべ情報



新丸山ダムキャラクター しんまるくん

発行
建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

11

INFORMATION

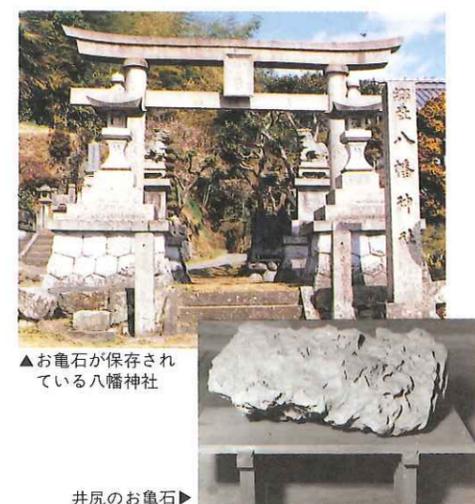
建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や関連する方々との情報ネットワークとして情報誌「みずしるべ」を発行しております。今号は、新丸山ダムに係る水源地域整備計画をテーマにしました。今後も内容をますます充実させていきたいと思っております。ご意見・ご感想がございましたらぜひお寄せ下さい。



松野湖
美しい自然にあふれる周囲8kmの松野湖は、ボートや釣り、周辺ではハイキングやピクニックを楽しむ人々にぎわっています。

新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曾川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。我が国あるいは世界で大きな役割をになっている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曾川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすことになります。



▲お亀石が保存されている八幡神社

井尻のお亀石▶

御嵩町上之郷井尻にある八幡神社には、「お亀石」という自然石が、雨ごい行事の本尊として大切に保存されています。川やため池の水を農業にうまく利用できなかった昔は、日照り続きで田植えができなかったり、育ちかけた稲が枯れたりしたら、神様にお祈りするしか方法がなかったのでしょうか。井尻では昭和の初めまでお亀石による雨ごいが行われていました。
丑の刻(午前2時ごろ)もん付きはかま姿の区長、神官、氏子総代、お亀石のみこし雅楽をかなでる人、そして男たちの長い行列が可児川へと向かい、3斗5升(約63ℓ)のたるをいかだのように組み合わせで作った舟からお亀石を洗って祈るのです。人々は雨が降るまで祈り続けました。夜は、燈明やちようちんに明りがともされ、「ドーン、ドーン」と打ち鳴らす宮太鼓の音が、村人たちの



悲痛な叫びとなって山々にこだましました。しかし、ひとたび大雨が降ると、今度は可児川の水があふれ、田が土砂に埋まったり、稲が流されたりするので、御嵩町の人たちは、思うようにならない可児川の水をなんとかしよう、ため池を作ったり、用水を引いたり、さまざまな工夫をしてきました。しかし、今のように優れた機械も技術もなかったため、こうした被害を繰り返さなければならなかったのです。かんばつや大雨の心配からようやく開放されたのは、鬼岩の松野湖や前沢ダムができてから。これらは、可児川がかかえる約5百ヘクタールのかんがい用水を補うために作られました。おかげで雨ごいの必要もなくなり、可児川は穏やかな川面に姿を変えたのです。これが、かつてはたいへんなあばれ川だったなんて、ちょっと想像できませんね。

▲可児川の松野湖

参考資料/
郷土みたけ
資料提供/
御嵩町役場

恵みの雨を祈り、田畑を守った人々 井尻の雨ごい

〈御嵩町〉

水と昔話

黒瀬船のひのきと白鳥

八百津町

毎年4月の第1日曜日に、八百津町では八百津祭りへだんじり祭り(が盛大に行なわれています。大船神社は、このだんじり祭りの氏神様。合体すると船を形どる3台の山車はここに集まり、祭りのクライマックスを迎えます。この大船神社は、ずーっと昔、大山神社と呼ばれ、社は権現山にありました。それが、大船神社と呼ばれるようになったのは、こんな伝説からです。縄文時代から、権現山は神々が住まわれる山と信じられてきました。また地形的にも、木曾川、飛騨川へと流れ出る雨水の分水地であったため、恵みをもたらす水の神様として信仰を集めていました。
天慶年間といいますが、今からおよそ千年くらい前のことです。権現山の中腹に大きなひのきがありました。それは木曾川の激流を下る、黒瀬船と呼ばれる渡し舟を造るのにピッタリな、丈夫そうな大木だったため、これを切り倒すことにしたので。さて、ひのきを切るうとしたまさにその時、一番下の枝に白鳥がとまり、とても悲しそうに鳴きました。けれど、人々はあまり気にもとめず、切り倒してしまつたのです。すると、どうでしょう、切った木を山の下におろそうとしても、それは岩のようにドッシリと重くピクともしません。なに山頂に向かって引くと、いとも軽々と動くではありませんか。
人々は、「これは神様のしわざだ」と言い合い、いつからか、この山の守り神であった大山神社を「大船神社」と呼ぶようになったという事です。
※今回は、八百津の歴史に詳しい古田平一朗さんに話をうかがいました。

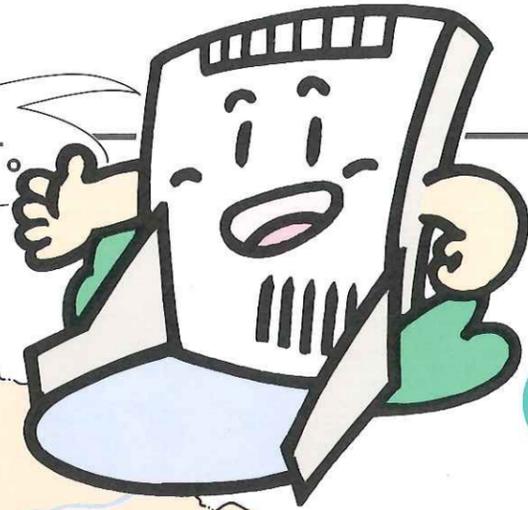


建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所
〒505-03
岐阜県加茂郡八百津町八百津3351



もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でも
お気軽にお問い合わせ下さい。
0574-43-2780(代)

こんな整備計画が
予定されていま～す。



- 凡例
- 水源地域
 - 貯水池
 - 農道
 - 圃場整備
 - 農業集落排水
 - 簡易水道
 - 下水道
 - 道路整備
 - 林道
 - 公民館等
 - スポーツ・レクリエーション施設



簡易水道の
整備

簡易水道施設の整備を行います (事業主体)
⑩ 簡易水道等施設整備事業 (恵那市)

林道の
整備



林道の整備を行います (事業主体)
⑫ 林道若木線開設事業 (八百津町)
⑬ 林道名場居線開設事業 (八百津町)
⑭ 林道大平線開設事業 (八百津町)
⑮ 林道深沢線開設事業 (瑞浪市)
⑯ 林道高根線改良事業 (瑞浪市)
⑰ 林道大藪線改良事業 (瑞浪市)
⑱ 林道大沢線開設事業 (恵那市)

2 元気いっぱいの 地域づくりをめざして

一般国道418号八百津バイパス全線完成

八百津町の発展と活力ある地域づくりに役立つ道路として、八百津バイパスは昭和46年から岐阜県によって事業が進められてきました。総延長約3.6kmのうち、すでに約1.8kmの区間が通行できます。今回開通する区間は残りの延長約1.8km。昭和62年岐阜県の施工に始まり、昭和63年からは新丸山ダム建設のダムコンクリート骨材に必要な原石の運搬道路を兼ねるため、岐阜県との合併事業として、新丸山ダム工事事務所において施工を開始。そして、平成6年4月21日に全線完成のはこびとなりました。



●新緑の山間を通る八百津バイパス



●丸山トンネル(諸田側)

3 ダム周辺のカワイイ仲間たち

「ハクビシン」カメラにびっくり!

八百津町の山の中で、岩穴に住みついている野生の「ハクビシン」が写真に撮影されました。岐阜県立加茂高等学校にお勤めの梶浦敬一氏が自然環境の調査中、カメラに収めたものです。思わぬ出来事に、現場の職員もハクビシンもビックリ。木の上で生活するといわれているハクビシンが、岩穴で生活しているのは、とても珍しいとのこと。ダム周辺の豊かな自然は、こんなカワイイ仲間たちをやさしく育てているのです。

【ハクビシン】
ジャコウネコ科。
夜行性で果実をこのむ。灰褐色の毛に鼻筋の白い線が特徴。



〈写真提供〉
岐阜県立加茂高等学校教諭
梶浦 敬一氏

H6年 2月19日 朝日新聞

ハクビシンの母子撮った
八百津の山中、きょう展示
加茂高の
梶浦先生



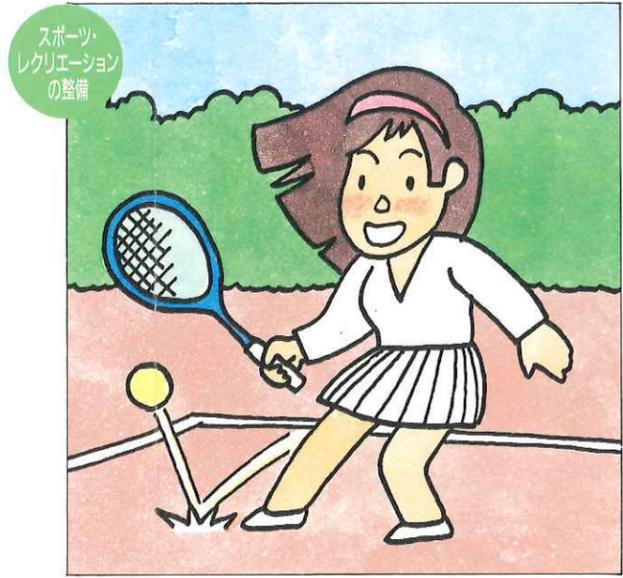
下水道の
整備

公共下水道の整備を行います (事業主体)
⑪ 特定環境保全公共下水道整備事業 (八百津町)



集会場等の
整備

郷土館の整備を行います (事業主体)
⑲ 郷土館改修事業 (八百津町)
集会場の整備を行います (事業主体)
⑳ 農業集会施設整備事業 (恵那市)



スポーツ・
レクリエーション
の整備

スポーツやレクリエーション活動
のできる広場等のある公園の整備
を行います (事業主体)
㉑ 公園整備事業 (八百津町)

ふれあい すぺ〜す

美濃加茂が生んだ、明治の文豪

日本の近代を、 小説と演劇の分野から 切りひらく・坪内逍遙



青年期は小説・演劇の革新を、晩年はシェイクスピアの全訳に力を注ぐ。

『小説神髓』で知られる文豪、坪内逍遙

(1859-1935年)は、幕末から明治へ日本が大きく揺れ動いた激動の時代に、太田代官所の役人の子として現在の美濃加茂市で生まれました。11歳までこの地で過ごした逍遙は、本や芝居が大好きだった母親の影響で、草双紙(江戸時代の絵入りの読み物)になじみ、白い紙に人物や動物の絵を描き散らして、そこに色をぬるのが何よりの楽しみだったそうです。そのため、家の人たちから「半年生まれの紙食い虫」と呼ばれていました。のちに、小説や演劇の革新に力を注ぎますが、そうした芸事への関心は、このころから芽生えていたよう



▲古い宿場の面影をのこす美濃加茂市

です。

小説を革新したと評される文芸論『小説神髓』や小説『当世書生気質』を世に出したのは、27歳の時。そのほかにも、演劇の改善と、新しい歴史劇の創作を行ったり、シェイクスピアの作品を広く紹介するなど、さまざまな偉業を成し遂げました。

逍遙は昭和10年、77歳で亡くなりましたが、晩年、美濃加茂の虚空蔵堂を訪れた時、境内に群生しているヤブツバキの実で「木の実ふり」という遊びをしたことを懐かしんで、こんな歌を詠みま

した。
山椿さけるを見れば
いにしえを幼きときを

神の代をおもふ
この木の実ふりにし
事ししのばれて山椿花

いとなつかしも

古い宿場の面影を残す
美濃加茂の町は、また、日本を代表する文豪の足跡



▲祐泉寺



▲逍遙公園



をも残しています。脇本陣のすぐ西にある祐泉寺には逍遙の石碑が、生家のあった太田小学校の校庭には逍遙公園があり、文芸散策を楽しむ人たちの憩いの場となっています。
参考資料／大村弘毅著・吉川弘文館刊『坪内逍遙』
取材協力・資料提供／美濃加茂市役所

いべんと インフオメーション

八百津町

- 6月30日●蘇水峡キャンプ場開き
- 8月3日●人道の丘開園式典(人道の丘)
- 7日●蘇水峡川まつり(花火大会)●蘇水峡
- お問い合わせ 八百津町役場(0574)431211

御嵩

- 5月3日●みたけの森まつり(雨天順延)(みたけの森)
- 6月8日●第10回御嵩町美術展(中公民館)
安藤栖阜遺作展(中公民館)
- 22日●子ども会・可児川一斉清掃
- 8月1日●御嵩町第9回音楽祭(中公民館)
- お問い合わせ 御嵩町役場(0574)671211

恵那

- 5月1日〜11日●根の上高原つつじ祭り(根の上高原)
- 3日●笠置神社大祭(中野方町笠置神社)
- 6月25日〜7月10日●根の上高原花菖蒲祭り(根の上高原)
- 下旬●あじさい祭り(グリーンピア恵那)
- 7月23日・24日●森と湖に親しむ集い(阿木川ダム)
- 30日●大井ダム70周年恵那峡花火大会(恵那峡)
- 根の上高原カーニバル水中花火大会
(根の上高原)

瑞浪

- お問い合わせ 恵那市役所(0573)261211
- 5月初旬●鬼岩つつじまつり(鬼岩公園)
- 6月25日●竜吟の滝開き
- 7月23日●細久手ちようちん祭り(日吉町細久手)
- 8月6日〜8日●美濃源氏七夕まつり(瑞浪駅周辺)
- 14日●竜吟の滝まつり(竜吟の滝)
- 15日●陶町陶祖祭(陶町)

- お問い合わせ 瑞浪市役所(0572)681211